

# 地域に密着した質の高い医療提供 高血圧症、糖尿病の治療に好実績



天井が高く、落ち着いたたたずまいの待合ホール



機器が並び、地域の健康を守る検査室



親身に患者さんと接する診察室内部



院長 高木 陽一

1986年、札幌医科大学医学部卒業。少年時代を帯広で過ごす。大学卒業後は同大循環器・腎臓・代謝内分泌内科学へ入局。その後、室蘭市立病院、旭川日赤病院を経て92年より王子総合病院に勤務。透析室長を15年務めたのち、苫小牧泌尿器科循環器内科で内科・透析を担当。

適切な治療と生活改善で高血圧克服へ  
2013年の開業以来、地域に密着した、質の高い医療を提供している。来院者の疾病で多いのは「高血圧症」、続いて「糖尿病」。人口が比較的若い市東部地区にも、生活習慣病の影が忍び寄っているようだ。高血圧の場合、塩分制限や食事療法も大切だが、「薬が良くなっていますので、きちんと治療を」とアドバイスする院長。運動不足や肥満などに起因するケースでは「治療と併せて日常生活を改善することで病状もある程度良くなります」。

糖尿病も、近年は良薬が多数登場し、患者にとっては朗報だ。「昔は合併症が深刻でしたが、今は治療すればひどい合併症にならずに済むようになりましだ」「口の渇きなどの自覚症状もあるが、「尿と血液で簡単に検査できます。ぜひ健康診断を受

けてほしいですね」。

たかが風邪、むくみと軽く考えないで  
最近、風邪のようなせき症状や、むくみを訴えて初診に訪れた患者さんのうち、「心不全」と診断されるケースがある。せき、むくみと甘く見るのは禁物。

一方、循環器内科以外で顕著なのが「せき喘息」。せき止め薬は効かず、喘息用吸入剤だと効き目があるという。「気管支喘息」に悪化する恐れもあり、せきが長く続くようだと、受診を勧める。

市東部地区には呼吸器内科を持つ医療機関は少なく、「禁煙外来」を開設する当院は地域に頼られる存在だ。「子の健康を考えれば、親がまず禁煙を。妊婦の9割は出産まで禁煙しており、出産後も継続してほしい」と心援する院長。

医療法人社団 心交会 **たかぎ内科・循環器内科**

☎(0144)53-7700

苫小牧市北栄町1丁目22番33号

ホームページ <http://nttbj.itp.ne.jp/O144537700/index.html>

診療時間／  
月・火・木／9:00～13:00 15:00～18:30  
水・土／9:00～13:00  
休診日／日・祝日



内科・循環器内科・糖尿病内科・呼吸器内科